

令和4年度

第4回

上越市地域公共交通活性化協議会
議案書

日 時	令和4年12月23日(金) 午後1時30分から
会 場	上越市役所 第1庁舎 4階 401会議室

令和5年4月に行うバス路線の再編について

1 要旨

令和5年4月1日に予定しているバス路線の再編等について審議するもの。

2 再編の内容

No.	路線名（経路）	再編の内容	資料
合併前上越市			
1	【路線バス】 佐内・直江津循環線 (直江津駅前～佐内入口)	(1) 利用が少ない便を減便する。 ※路線及び運賃の変更なし ※路線図 資料1 (資料P1)	資料2 (資料P2)
2	【路線バス】 謙信公大通り循環線 (春日山駅前～春日山駅前)		資料3 (資料P3)
3	【路線バス】 春日山駅・アルカディアシャトル便 (春日山駅前～上越総合病院)		資料4 (資料P4)
4	【路線バス】 謙信公大通り線 (直江津ショッピングセンター前～上越総合病院)		資料5 (資料P5)
5	【路線バス】 島田線 (高田駅前案内所～曾根田)		(1) 通学に利用される便について、「島田上新田」、「東木島」、「西木島」バス停を新設し、運行経路を変更する。 ※新設する3か所のバス停からの運賃は「島田」と同様。 ○上越妙高駅への乗り入れは、試験運行の結果、行わない。
清里区			
6	【市営バス】 櫛池線 (清里診療所前～赤池)	(1) 利用が少ない便をデマンド運行とする。 (2) 定時便の運行区間を「清里診療所前～赤池」から「清里診療所前～梨平」に変更し、「梨平～赤池」間はデマンド運行とする。 (3) 利用がない「青柳上」、「青柳下」のバス停を廃止する。 ※運賃の変更なし	資料7-1 (資料P12) 資料7-2 (資料P13、14)

3 実施予定日

令和5年4月1日（土）

4 再編計画の変更等について・・・・・・・・・・・・・・・・資料8(資料P15、16)

(1) 上越大通り線（合併前上越市）

令和5年4月に鉄道ダイヤを踏まえた主要幹線としてのダイヤ改善等を検討することとされていたが、毎年4月のダイヤ改正時に実施しており、令和5年4月においても同様に実施する。

(2) 教育大学線、春日山・佐内線（合併前上越市）

令和5年4月に系統間の重複解消、減便等による効率化を検討することとされていたが、重複していない区間における利用があるため、再編は行わないこととする。

(3) 山麓線（合併前上越市）

1便当たりの利用者数が計画策定時までは横ばい・増加傾向であったため、令和5年4月に土日の運行、増便を検討することとされていたが、近年は減少傾向にあることから、再編は行わないこととする。

(4) 犀潟駅線、黒井駅線、柳町線、くびき駅線、大池線（頸城区）

令和5年度内に他の交通形態への転換等を含め、再編を検討することとされていたが、小中学生の登下校における利用が多く、登下校に合わせた運行を維持することが必要であるため、再編は行わないこととする。

(5) 泉谷・勝徳循環線（吉川区）

令和5年4月に市営バス等への転換を検討することとされていたが、小中学生の登下校における利用があり、利用者数の増減の見込みを踏まえて運行内容を検討する必要があることから、令和5年4月において再編は行わないこととする。

5 その他

- ・路線、運賃の変更について、ご承認いただいた後、会則第11条第2項の規定に基づき、協議が調ったことの証明書を発行します。
- ・名立線（コミュニティプラザ前～うみてらす名立前～労災病院前）について、令和5年4月から日祝日の運休を予定しており、今後、名立区公共交通懇話会に説明した後、本協議会に諮る予定です。

令和4年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る事業評価について

1 要旨

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第3条第5項及び実施要領に基づき当協議会が実施する地域公共交通確保維持事業について、効果的かつ効率的に事業を推進するため、補助金交付要綱の規定に基づき、実施状況の確認及び目標達成状況等の評価を行うもの。

2 補助金名称

地域公共交通確保維持改善事業費補助金

※参考：補助金交付要綱第1条

「この補助金は、生活交通の存続が危機に瀕している地域等において、地域の特性・実情に最適な移動手段が提供され、また、バリアフリー化やより制約の少ないシステムの導入等移動に当たっての様々な障害の解消等がされるよう、地域公共交通の確保・維持・改善を支援することを目的とする。」

3 評価対象事業

地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金（評価対象：R3.10～R4.9）

4 評価基準

(1) 事業実施の適切性

A：事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された

B：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった

C：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

(2) 目標・効果達成状況

A：事業が計画に位置づけられた目標を達成した（する見込み）

B：事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった（一部達成できない見込み）

C：事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった（達成できない見込み）

5 事業評価

次頁のとおり

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 上越市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
東頭バス(株)	運行路線: 安塚線 うらがわら駅前～虫川大杉駅前～保健センター前	鉄道への接続に配慮したダイヤを設定し、学生を中心に利用者の移動手段を確保した。安塚区総合事務所と連携し、お得な乗車券の情報やバスロケーションシステム等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標: 前年度収支率より改善もしくは維持する。 前年度30.5%に対して実績21.6%(未達成) 事業効果: 路線維持により、沿線住民及び学生等の移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因: 新型コロナウイルス感染症の影響による一般利用者の減少及び高田高校安塚分校へ通学する生徒の利用減により、収入全般(現金・回数券・定期券)が減り、収支率が悪化した。(運送収入前年度比▲359千円・収支率前年度比▲8.9%)	引き続き、鉄道や他のバス路線への接続に配慮したダイヤを維持することで、学生を中心に利用者の移動手段の維持確保に努める。また、安塚区総合事務所と連携し、お得な乗車券の情報やバスロケーションシステムの案内を事務所だよりやチラシにより周知し、利用促進を図る。
くびき野バス(株)	運行路線: 島田線 高田駅前～岡原～曾根田	鉄道(高田駅)や幹線系統への接続に配慮したダイヤを設定し、沿線住民の移動手段を維持確保した。観光客の需要などの確認のため、上越妙高駅へ乗り入れる実証実験を行った。板倉区総合事務所と連携し、お得な乗車券の情報やバスロケーションシステムの案内等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標: 前年度収支率より改善もしくは維持する。 前年度22.9%に対して実績17.7%(未達成) 事業効果: 路線維持により、沿線住民の通学、通院などの移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因: 新型コロナウイルス感染症の影響により、運送収入全般(現金・回数券・定期券)が減少し、収支率が悪化した。(運送収入前年度比▲492千円・収支率前年度比▲5.2%)	引き続き、鉄道や幹線系統への接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。また、板倉区総合事務所と連携し、お得な乗車券の情報やバスロケーションシステムの案内等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 上越市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
頸城自動車(株)	運行路線: 佐内・直江津循環線 直江津駅前～労災病院前～佐内入口	鉄道(直江津駅)や幹線系統への接続に配慮したダイヤを設定し、高齢者を中心に利用者の移動手段を維持確保した。お得な乗車券の情報やバスロケーションシステムの案内等を掲載した高齢者向けの啓発資料を労災病院や直江津ショッピングセンター前案内所へ設置し、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標: 前年度収支率より改善もしくは維持する。 前年度8.3%に対して実績9.2%(達成) 事業効果: 路線維持により、沿線高齢者を中心に通院及び買い物等の移動手段を確保(達成) 目標達成の要因: 大雪等の災害による運休が無かったため、昨年度に比べ運行回数が多くなったことから運送収入が増加し、収支率が改善した。(運送収入前年度比+111千円・収支率前年度比+0.9%)	引き続き、鉄道や幹線系統への接続に配慮したダイヤを維持することで、高齢者を中心に利用者の移動手段の維持確保に努める。また、お得な乗車券の情報やバスロケーションシステムの案内等を掲載した高齢者向けの啓発資料を労災病院へ設置するとともに、直江津ショッピングセンターでの買い物目的の利用者獲得のため、頸城自動車と連携して利用促進を図る。
アイエムタクシー(株)	運行路線: 岡沢ルート 新井バスターミナル～中郷区総合事務所前～岡沢	鉄道や幹線系統への接続、通学に配慮したダイヤを設定し、沿線の中学生や高齢者を中心に利用者の移動手段の維持確保に努めた。乗合タクシーの利用方法等を事務所だよりやチラシにより周知し、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標: 前年度収支率より改善もしくは維持する。 前年度8.2%に対して実績6.2%(未達成) 事業効果: 路線維持により、沿線の中学生や高齢者を中心に通学、通院及び買い物等の移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因: 利用者の高齢化や学生の通学利用が減少したことにより、運送収入が減り、収支率が悪化した。(利用者数R3: 1,285人→R4: 1,153人・運送収入前年度比▲39千円・収支率前年度比▲2.0%)	引き続き、沿線の中学生や高齢者を中心に利用者の移動手段の維持確保に努める。中郷区総合事務所と連携し、お得な乗車券の情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 上越市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
東頸バス(株)	運行路線: 月影・下保倉・末広ルート(1)、月影・下保倉・末広ルート(2) うらがわら駅～浦川原区中心部～谷	小・中学校の登下校時間、鉄道(うらがわら駅)との接続に配慮したダイヤを設定し、小学生を中心に沿線住民の移動手段を維持確保した。 浦川原区総合事務所と連携し、お得な乗車券の情報を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標: 前年度収支率より改善もしくは維持する。 前年度22.4%に対して実績16.7%(未達成) 事業効果: 路線維持により、沿線の小学生や高齢者を中心に通学、通院及び買い物等の移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因: 新型コロナウイルス感染症の影響により、運送収入全般(現金・回数券・定期券)が減少し、収支率が悪化した。(運送収入前年度比▲59千円・収支率前年度比▲5.7%)	引き続き、沿線の小・中学生や高齢者を中心に利用者の移動手段の維持確保に努める。浦川原区総合事務所と連携し、お得な乗車券の情報を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。
くびき野バス(株)	運行路線: 真砂線 高田駅前～真砂寺前～三和体育館	鉄道(高田駅)との接続に配慮したダイヤを設定し、沿線住民の移動手段を維持確保した。 三和区総合事務所と連携し、お得な乗車券の情報やバスロケーションシステム等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標: 前年度収支率より改善もしくは維持する。 前年度18.4%に対して実績18.4%で変わらず(達成) 事業効果: 路線維持により、沿線住民及び学生等の移動手段を確保(達成) 目標達成の要因: 大雪等の災害による運休が無かったため、昨年度に比べ運行回数が増加したが、燃料費高騰などの要因に伴い経常費用も増加したため、収支率は変動しなかった。(経常費用前年度比+197千円・運送収入前年度比+91千円)	引き続き、鉄道との接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。また、三和区総合事務所と連携し、お得な乗車券の情報やバスロケーションシステムの案内等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	上越市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	上越市では、鉄道(えちごトキめき鉄道妙高はなうまライン及び日本海ひすいライン、JR東日本信越本線、北越急行ほくほく線)のほか、当市と周辺自治体を、また、鉄道のない郊外エリアと市街地を結ぶ一部の幹線的バス系統を、公共交通ネットワークの骨格に位置付け、その他の路線バス系統やコミュニティバス(交通空白地有償運送)と接続させることで、効率性を考慮しながらも、使い勝手のよい階層的な公共交通ネットワークの構築を進めるとともに、生活交通の維持・確保がなされるよう、既存の路線バス等について、地域の実情を踏まえた運行形態へと見直しを進めた。

地域公共交通計画の評価等結果について

1 要旨

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第7条の2に基づき、第2次上越市総合公共交通計画に基づく取組の実施状況に対する調査、分析及び評価について、協議を行うもの。

※参考：地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第7条の2
(地域公共交通計画の評価等)

地方公共団体は、地域公共交通計画を作成した場合には、毎年度、当該地域公共交通計画の区域における地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生に関する施策の実施の状況についての調査、分析及び評価を行うよう努めるとともに、必要があると認めるときは、地域公共交通計画を変更するものとする。

2 評価対象期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

3 調査、分析及び評価の結果

次頁のとおり

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

第2次上越市総合公共交通計画の評価等結果（令和3年4月～令和4年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<p>バス及び市営バスの利用者数の減少率を人口減少率以内に抑制する。</p>	<p>集落内への経路変更や停留所の新設、病院へ乗り入れる系統の増便などを行った。 また、自宅最寄りの停留所から目的地までの経路等を掲載した「マイ時刻表」の作成、高齢者等に向けたチラシや上越市内公共交通総合時刻表の配布等の利用促進の取組に加え、バスロケーションシステムの対象路線を拡充するなど利便性向上を図った。</p>	<p>利用者数は運行事業者・市が有するデータ、人口は住民基本台帳による。</p>	<p>平成30年度に対して令和3年度の利用者数は18.2%の減少。また、同一期間における人口は3.0%の減少。(未達成)</p> <p>＜利用者数＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 1,578千人 ・令和元年度 1,552千人 ・令和2年度 1,258千人 ・令和3年度 1,291千人 	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により外出の機会が減少し、利用者数が大幅に減少したと考えられる。 ・引き続き、目標達成に向けてバス路線の再編や利用促進策を実施していく。</p>	<p>計画変更の必要なし。</p>
<p>「市民の声アンケート」において、「バスや鉄道などの公共交通の便がよい」と感じる市民の割合及び、「公共交通の利便性向上」に係る市の取組に対する満足度を、平成30年の調査より向上する。</p>	<p>集落内への経路変更や停留所の新設、病院へ乗り入れる系統の増便などを行った。 また、自宅最寄りの停留所から目的地までの経路等を掲載した「マイ時刻表」の作成、高齢者等に向けたチラシや上越市内公共交通総合時刻表の配布等の利用促進の取組に加え、バスロケーションシステムの対象路線を拡充するなど利便性向上を図った。</p>	<p>令和4年1月に市が実施した「市民の声アンケート」の調査結果</p>	<p>平成30年の調査に対して令和4年の調査では、2項目のうち1項目のみ向上。(未達成)</p> <p>＜調査結果＞</p> <p>「バスや鉄道などの公共交通の便がよい」と感じる市民の割合(0.9ポイント減少、未達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年調査 27.6% ・令和4年調査 26.7% <p>「公共交通の利便性向上」に係る市の取組に対する満足度(0.04ポイント増加、達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年調査 -0.46 ・令和4年調査 -0.42 	<p>・引き続き、目標達成に向けてバス路線の再編や利用促進策を実施していく。</p>	<p>計画変更の必要なし。</p>
<p>計画終了時におけるバスに対する市の財政負担を4億円以内に抑制する。</p>	<p>利用者が少ない路線を廃止し、路線バスの支線を市営バスに転換したほか、減便や一部デマンド化などにより運行の効率化を図った。</p>	<p>路線バス・乗合タクシーの運行に係る市補助額、地域の団体による自家用有償旅客運送の取組に対する市補助額、市営バス等の運行に係る経費の令和3年度決算額</p>	<p>バスに対する市の財政負担は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 356,166千円 ・令和元年度 347,207千円 ・令和2年度 394,768千円 ・令和3年度 415,857千円 	<p>・市の財政負担を抑制するため、1便当たりの利用者数による評価に基づきバス路線の再編を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響による運送収入の減少により、市の財政負担が大幅に増加した。 ・引き続き、目標達成に向けてバス路線の再編や利用促進策を実施していく。</p>	<p>計画変更の必要なし。</p>

令和4年度（令和3年10月～令和4年9月）の 路線バス等の利用状況について

1 要旨

令和4年度（令和3年10月～令和4年9月）の利用者数等の実績の集計結果について報告を行うもの。

2 対象路線及び集計期間

- (1) バス運行対策費補助金の補助対象路線（50路線）
……令和4補助年度（令和3年10月～令和4年9月）
- (2) 上越市が実施する自家用有償旅客運送（市営バス）
……令和3会計年度（令和3年4月～令和4年3月）

3 集計結果（概要）

- (1) バス運行対策費補助金の補助対象路線
 - ・前年度と比較し、増加した路線：17路線
 - ・前年度と比較し、減少した路線：28路線
 - ・令和4年度に新設した路線：5路線
- (2) 上越市が実施する自家用有償旅客運送（市営バス）
 - ・前年度と比較し、増加した区：牧区、頸城区
 - ・前年度と比較し、減少した区：安塚区、大島区、名立区
 - ・令和3年度に新設した区：板倉区、清里区

【資料】

- ・路線バス等の利用状況について・・・・・・・・・・資料9(資料 P17、18)

予約型コミュニティバスの利用状況について

1 要旨

中山間地域に暮らす高齢者の通院や買物、高校生の通学において、利用しやすい移動手段を確保するため、10月から実証運行を開始した予約型コミュニティバスについて、利用状況を報告するもの。

2 利用状況（令和4年10月～11月）

資料10のとおり

3 利用者からの感想・要望

- ・ 利用したいときに利用できるのもので、便利になった。
- ・ 停留所を新設してもらったので、利用している。
- ・ 路線の垣根がなくなったので、知人と乗り合って温浴施設や飲食店に行っている。
- ・ 運行時間が拡大されたので、通勤に利用できる。
- ・ 既存の停留所まで歩くことができないので、停留所を新設してほしい。
(安塚区「樽田入口」(12月7日新設)、牧区「牧診療所前」(10月31日新設) 停留所を新設済み。)

4 今後の取組

- ・ 運行内容や予約方法の周知を随時行い、予約型コミュニティバスの利用促進を図る。特に朝・夕の利用が少ないため、冬期間や4月の通学・通勤方法を見直す時期に合わせて、学生など新規利用者への周知を図る。
- ・ 利用者数や利用時間帯等の運行データを収集するほか、利用者へのアンケート調査を継続して実施し、令和5年4月からの本運行への移行に向けて運行内容の改善等を検討する。

5 その他

安塚区及び牧区で運行している予約型コミュニティバスについて、令和5年度上越市地域内フィーダー系統確保維持計画に位置づけるため、当該計画の変更が生じる箇所について変更を行います。

【資料】

- ・ 予約型コミュニティバスの利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・資料10(資料P19～23)

令和4年度公共交通利用促進事業の進捗について

1 要 旨

令和4年度事業計画に基づく利用促進事業の進捗状況について報告するもの。

2 進捗状況

No	実施時期	事業名	進捗状況	備考
①	4月1日～	上越市内公共交通「マイ時刻表」の配布	実施中	
②	7月6日～	高齢者を対象とした公共交通啓発資料の配布	実施中	
③	7月23日～ 8月28日	夏休み小・中・高校生「バス乗車体験」キャンペーン	完了	市共催
④	9月17日	バスの日フェスタ 2022	完了	協議会 後援
⑤	10月1日～	バスロケーションシステムの対象路線の拡充	完了	
⑥	3月	再編周知チラシの配布		
⑦	3月	上越市内公共交通総合時刻表の配布		
⑧	随時	各区で取り組む利用促進事業	実施中	

※太枠内の事業は、今回の協議会での報告内容

3 実施結果

③ 夏休み小・中・高校生「バス乗車体験」キャンペーン

目 的	小・中・高校生にバスに慣れ親しむ機会を提供することで、夏休み期間中のバスの利用促進及び将来のバス利用につなげる。
実施期間	令和4年7月23日（土）～令和4年8月28日（日） （昨年度令和3年7月22日（木）～令和3年8月25日（水））
対象路線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頸城自動車及びそのグループ会社が運行する路線バス ・ 安塚区・大島区・牧区・頸城区・板倉区・清里区・名立区を運行する市営バス ・ 安塚区・中郷区を運行する乗合タクシー
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生以下：1乗車50円（市営バスは、未就学児無料） ・ 中・高校生：1乗車100円

利用者数（人）		R3	R4	R4-R3	昨年比
頸城自動車 グループ	小学生	475	439	▲36	92%
	中・高校生	3,270	3,629	359	111%
路線バス	合計①	3,745	4,068	323	109%
市営バス	小学生	5	6	1	120%
	中・高校生	62	100	38	161%
	合計②	67	106	39	158%
乗合タクシー	小学生	0	0	0	-
	中・高校生	0	0	0	-
	合計③	0	0	0	-
①+②+③合計		3,812	4,174	362	110%

④ バスの日フェスタ 2022

目 的	市民がバスに慣れ親しむ機会を提供し、将来のバス利用につなげる。
実施状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、下記の催しのみ実施。
実施内容	<p>○日時 令和4年9月17日（土）午前10時～午後3時</p> <p>○会場 直江津ショッピングセンター エルマール</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの絵展示 市内6つの保育園・幼稚園の園児が描いたバスの絵を展示 ・路線バスの展示及びお絵かきバス バスの運転席での記念撮影及び車体にぬり絵ができるバスを設置 ・ワンコインバス乗車体験キャンペーン 市内の路線バス及び市営バスが1乗車100円（小児50円） 1,080人が利用（R3年度実績880人）

⑤ バスロケーションシステムの対象路線の拡充

<p>事業概要</p>	<p>バスの遅延などのバス利用における不安を軽減するため、スマートフォンやパソコンでバスの位置情報を確認できるバスロケーションシステムを令和2年11月から実施している。これまでの対象18路線に加えて、今年度新たに16路線を拡充。</p>
<p>実施日</p>	<p>令和4年10月1日（土）～</p>
<p>拡充路線</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・名立線 ・増田線 ・真砂線 ・正善寺線 ・佐内・直江津循環線 ・謙信公大通り循環線 ・浜線 ・島田線 ・高田南循環線 ・謙信公大通り線 ・佐渡汽船連絡バス ・上越病院線 ・中央病院線 ・上越大通り線（大雪等災害時の臨時バス） ・上越病院線（大雪等災害時の臨時バス） ・中央病院線（大雪等災害時の臨時バス）
<p>デザイン</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="470 1167 671 1196"> <p>【トップ画面】</p> </div> <div data-bbox="949 1167 1182 1196"> <p>【バスロケ画面】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

【資料】

- ・上越市バスロケーションシステムポスター・・・・・・・・資料11(資料 P24)

⑦ 上越市内公共交通総合時刻表の配布

事業概要	令和5年3月の鉄道のダイヤ改正及び令和5年4月の路線バス等のダイヤ改正に合わせ、市内の列車時刻や路線バスの運行時刻及び路線図をまとめた冊子を作成する。
規 格	A4判冊子 4色フルカラー
ページ数	48ページ(構成：路線図10ページ、鉄道・バス時刻表等38ページ)
作成部数	10,000部
配布時期	令和5年3月中旬
配布先	<p>○市窓口 各総合事務所(13か所×20部) 南・北出張所(2か所×30部) 総合案内(100部) 市民課(転入世帯分3,500部)</p> <p>○市施設 高田図書館(50部) 直江津学びの交流館(20部) 市民プラザ(10部) リージョンプラザ(10部) 地区公民館(15か所×10部) 高齢者交流施設(8か所×供覧用1部)</p> <p>○観光案内所 高田駅前・上越妙高駅観光案内所(各100部)</p> <p>○交通事業者 鉄道事業者(JR東日本7駅・北越急行5駅・えちごトキめき鉄道10駅×供覧用2部) バス案内所(4か所×1,000部) 頸北観光バス・頸南バス・東頸バス営業所(各500部)</p> <p>○病院・診療所 中央病院・労災病院・上越病院(供覧用各5部)</p> <p>○その他 交通政策課(73部)</p>
経 費	<p>○予算額 1,157,760円(税込)</p> <p>○財源内訳 市負担金478,360円+事業者負担金679,400円</p> <p>○事業者負担金の考え方 作成事業費を各事業者の時刻表の掲載コマ数により算出した額 <算出方法></p> <p>① (1ページ)4コマ×(1冊)48ページ=192コマ ② 作成費÷192コマ=1コマ当たりの金額(円) ③ 1コマ当たりの金額(円)×各事業者時刻表掲載コマ数</p>

